

情報発信方策について

令和 5 年 7 月



1. 令和4年度・5年度の記録撮影について

【映像記録の撮影について】 → 「資料8 参考資料」参照

- 令和4年度に8件、令和5年度7月時点で11件（予定含む）の映像記録を撮影。
- この他、静止画による撮影等も実施。

No.	日付	記録撮影内容	ジャンル
1	2023年1月16日	大径材(構造材)の材料調達・搬入等	材料調達
2	2023年2月21日	龍頭棟飾（唐破風）石膏原型の製作	焼物
3	2023年2月23日	龍頭棟飾（唐破風）石膏原型の製作	焼物
4	2023年2月25日	石材調達に関連した与那国島のイベント	材料調達
5	2023年3月14日	龍頭棟飾（唐破風）石膏原型の製作	焼物
6	2023年3月20日	龍頭棟飾（唐破風）石膏原型の製作	焼物
7	2023年3月23日	龍頭棟飾（唐破風）石膏原型の製作	焼物
8	2023年3月27日	石材加工作業	材料調達
9	2023年5月12日	龍頭棟飾（大棟）下地型の製作	焼物
10	2023年5月26日	龍頭棟飾（大棟）下地型の製作	焼物
11	2023年6月10日	龍頭棟飾（唐破風）下地型の製作	焼物
12	2023年6月12日	天井額木 仕口加工等	彫刻
13	2023年6月13日	御差床龍柱、向拝奥の彫刻物（金龍）の粘土造形	彫刻
14	2023年6月21日	垂飾 下絵	染織
15	2023年6月22日	天井額木 荒彫り	彫刻
16	2023年7月3日	天井額木 詳細彫り	彫刻
17	2023年7月14日	龍頭棟飾（大棟）石膏型取り	焼物
18	7月頃	礎盤 詳細彫り	彫刻
19	7月頃	向拝奥の彫刻物（羽目板）など 下絵作製	彫刻



龍頭棟飾（大棟）下地型製作



御差床龍柱、向拝奥の彫刻物(金龍)粘土造形



天井額木 仕口加工等

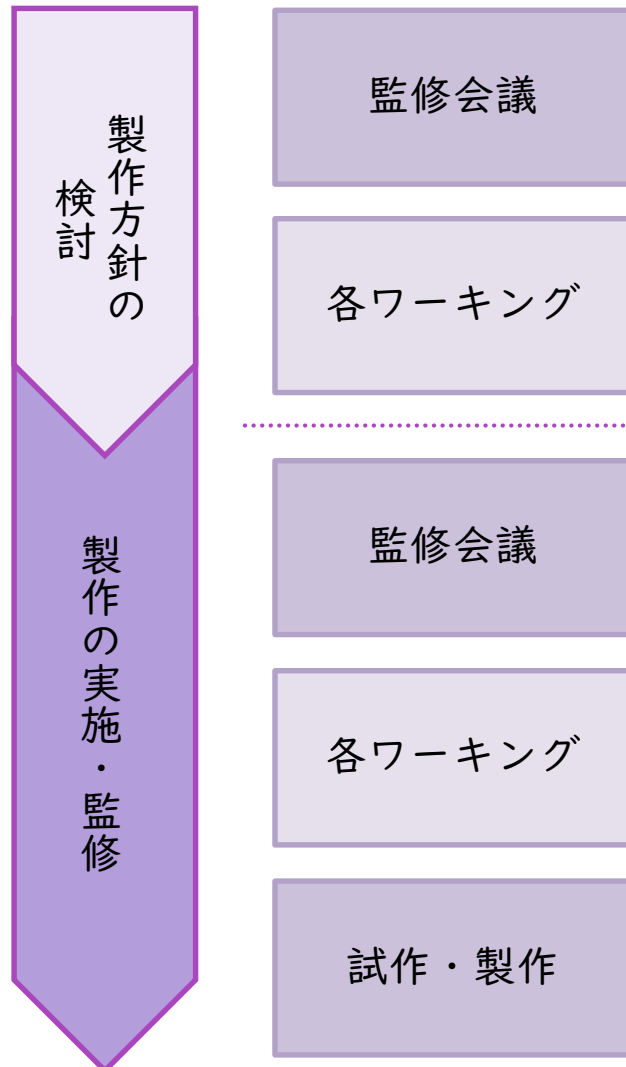


天井額木 荒彫り

2. 情報発信の方針

- 本事業は、会議終了後のマスコミへの会議資料や会議状況の説明（マスコミブリーフィング）や議事概要のホームページ等での公開を行う。**[一次発信]**
- さらに、県民や寄附者へ興味を持ってもらえるよう、製作や監修の進捗状況、製作技法の検討状況等を分かりやすく編集し、映像等を活用して、情報発信を行う。**[二次発信]**

【情報発信のイメージ】



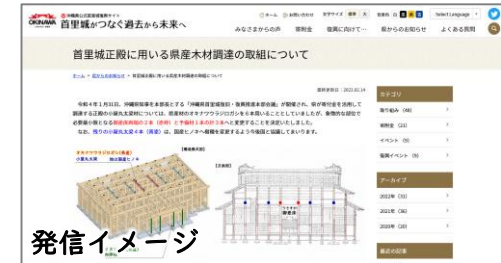
【一次発信（例）】

- ✓ 監修会議の開催案内
- ✓ 会議終了後のマスコミブリーフィング
- ✓ 県HPでの会議資料及び議事概要の公開

分かりやすく簡潔に編集

【二次発信（例）】

- ✓ 会議やワーキングの開催や進捗状況の報告（県HPやSNS等スマートフォンでも容易な閲覧）



発信イメージ

- ✓ 監修会議の開催案内
- ✓ 会議終了後のマスコミブリーフィング
- ✓ 県HPでの会議資料及び議事概要の公開

映像等で過程や動き・流れを見せる

- ✓ 製作や監修の状況、技法等の検討状況の報告（県HPやSNS等スマートフォンでも注目）
- ✓ 撮影した映像・写真等を活用したコンテンツの作成・公開など（自由で応答性のある閲覧）



発信イメージ

- ✓ 進捗を確認できるようなシンポジウム・展示会等の開催（時期等は各ワーキングで検討）

3. 情報発信【内容・手段・対象】の考え方

【情報発信の目的】

- 公園来訪者や寄附者への「**見せる復興**」(入口・広く)と復元技術の後継者育成(出口・絞られる)の2つの目的を達するため、効果的な手段の組み合わせやタイミング、整理や表現手法を検討する。

参加層

【どのような内容を】

【どのような手段で】

【誰に届けるか(対象)】

【その結果】

不特定多数

製作現場の進捗など
タイムリーな情報

- ニュースリリース
- **SNS**(Twitterなど)

首里城に留まらず沖縄や琉球に
広く興味や関心があり
即時的で多量の情報の中から
能動的にキャッチする人々

短時間動画や写真の
迫力で興味を惹き
首里城復興を
皆で見守る →
参加する雰囲気醸成

大人数

令和の復元における
議論・製作の記録

- 雑誌/業界紙へ掲載
- **パネル展**(復興イベント等)
- 製作記録報告書

限られた紙面・時間に合わせ
テーマや整理の焦点を絞り
定期的な区切りをつけた際に
整理された情報を求める人々

体験者層に合わせて
平成や既往の復元と
分かりやすく比較などし
正確な経緯を整理して
将来の復元に活用

少人数

伝統技術や新たな
技術に挑戦した
技術者の姿と想い

- 出前講座/現場説明
会/**シンポジウム**開催
- **製作者インタビュー**
- **IT活用で記録映像の
教材化**





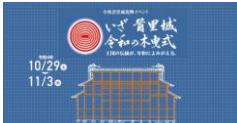


首里城復元に関連する
琉球建築や美術工芸品等に
深く長く興味や関心がある
復元技術の次世代の技術者の卵

復元技術者の想いや
技術の要点・流れを
関連づけて整理し
継承すべき技術の伝達
と後継者の育成

赤字:特に注力したいもの

【参考】沖縄県首里城復興課による情報発信（R5.7時点）

- 沖縄県では、県HP内に「首里城復興サイト」を設置し、令和の復元事業に関する情報発信やイベント等を行っている。イベント等を含めた情報発信としては主に以下のような状況である。

種類	期間	概要	コンテンツ
情報発信	2020年4月	沖縄県首里城復興課 公式Twitter みなさまから届いた支援の声や #首里城 をキーワードとした情報を発信。	 Twitter
	2020年8月31日～	沖縄県公式首里城復興サイト 首里城がつなぐ過去から未来へ多くの方々との首里城復興への思いを共有するため、沖縄県が運営し、首里城復興への”思い”、寄付金に関する情報、復興に向けた取り組み、イベント等を紹介している。	HPサイト
	2023年10月予定	首里城図柄入り自動車ナンバープレート 首里城復興へのさらなる機運醸成を図るため、自動車ナンバープレートに「首里城」を取り入れるべく手続きを進めている。県内在住者を対象にデザイン公募し、最優秀賞を沖縄県デザイン案として国土交通省へ提出した。ナンバープレートは令和5年度10月頃に発行する予定。	
イベント	2022年2月28日	「国頭村と首里城のつながり」を学ぶ出前講座 持続可能な循環型林業の取組の一環として、首里城正殿に活用する県産材であるオキナワウラジログシについて、後継木育成に向け国頭村内の小学校3校の児童約20名を対象に、オキナワウラジログシ後継木の苗木づくりを実施した。	
	2022年9月～3月 2023年（夏～）予定	首里城火災破損瓦等の活用事業の募集 破損瓦等を利用して様々なイベントや活動を行ってもらうことで、首里城への「思い」を多くの方が共有し、また「思い」を形として残していくことを目的としている。	
	2022年11月13日	第14回 琉大未来共創フォーラム（沖縄空手会館） 沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催 歴史文化・サイエンス・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有を目的に琉球大学のビジョン「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」の実現に向け、地域社会とのコミュニケーションの場として開催。	オンライン同時開催 
	2022年 10/29～30, 11/3	令和首里城復興イベント「木曳式」（国頭村、那覇市、他県内各地） 令和4年秋の首里城正殿の復元工事の着手に合せ、琉球王国時代から行われていた故事である「木曳式（こびきしき）」に倣い、首里城正殿の復元に使用する御材木を運ぶ復興イベント「木曳（こびき）パレード」を実施した。	YouTubeのlive配信同時開催 
	2023年 2/18～19, 25～26 3/4～5	令和4年度首里城復興イベント 首里城への想い（首里城公園） 首里城ナイトタイムコンテンツやワークショップ、伝統文化ステージ等をおし琉球の文化・歴史を学び体験してもらう目的で開催した。 ・首里城プロジェクションマッピング ・首里城組踊鑑賞 ・首里城 PJM×三線合奏 ・ものづくり体験イベント ・首里まちお散歩ガイド	

【現在公開されている動画コンテンツ（一部）】

■首里城復興関係者インタビュー

「つなぐ首里城への思い①～⑬」

県民、企業・団体、行政・大学機関等による多くの首里城復興に関する取組が相互に連携・協働できるよう、関係者の皆様を現場にてインタビュー取材し、それぞれの活動や首里城に対する思いを紹介。

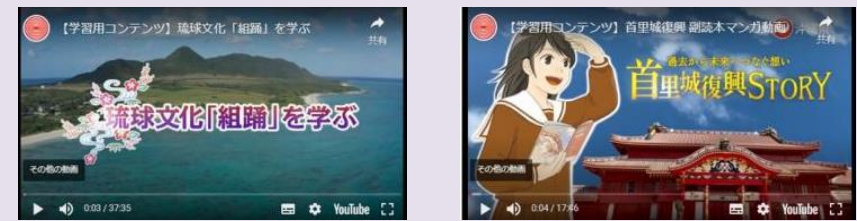


■首里城復興学習用コンテンツ

「①琉球文化「組踊」を学ぶ」

「②首里城復興STORY～過去から未来へつなぐ思い～」

首里城に象徴される沖縄の歴史と文化を次世代へ継承する取組の一環として、首里城に象徴される沖縄の歴史と文化を感じてもらう機会とするため、県内の小中高校生へ学習用資料（マンガ・動画）を配布。



■令和首里城復興イベント特別動画

「令和の復元～木材篇～ 令和の復元～漆篇～」

「令和の復元～石材篇～ 令和の復元～瓦篇～」

国と連携して進めている寄付金を活用した正殿復元に使用する木材・石材・瓦の調達について紹介。



■令和首里城復興イベント関連動画

「首里城 平成の復元「木曳式」

平成元年に行われた「木曳式」について紹介。

